

## 新庁舎の竣工

市長 明智忠直



合併から16年目にして、ようやく新庁舎が完成しました。合併前の1市3町それぞれに歴史、文化、習慣、伝統など多少の違いはあったと思います。一つの市として共存共栄するためには、やはり庁舎の統合による拠点づくりが必須との思いが実現したところでもあります。

去る4月17日、新庁舎の竣工式を挙行いたしました。感染症対策を万全に、知事や国会議員をはじめ、県議会議員や近隣の首長、議長議長などを来賓に迎え、市民代表の方々250名の出席をいただきました。テープカットに臨む場面では、この庁舎で新たな旭市の歴史を刻んでいくんだとの特別な感慨を覚えたところでもあります。竣工式後は出席者新庁舎の内覧していただき、改めて新庁舎の意義を理解してもらえたことと思います。市民に開かれた庁舎、安全・安心を確保できる庁舎など、6つのコンセプトに沿った、市

民の融和を成すための庁舎建設でありました。竣工式では知事から「旭市の発展にふさわしい拠点施設が完成し、災害対応や市民サービスの視点からも素晴らしい庁舎」との言葉をいただきました。ほかにも大勢の方々から、全体のバランスや眺望がよく、職場環境も整備され、職員の仕事に対する意欲も上がるだろうと好評をいただきました。

57年間の歴史を刻んだ旧庁舎も閉庁しました。これまで本市の発展に尽くしてくださった方々と共に、心から感謝いたします。しかし、旧庁舎では老朽化が進み、特に東日本大震災においては、耐震性などに不安を抱えながらの対応となりました。新庁舎は市民サービスの充実や、安全で安心なまちづくりの拠点施設であります。「健全な精神は、健全な肉体に宿る」の言葉にもありますが、職員が安心して仕事ができる状況に、旭市の更なる発展が見えるようです。